



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

### ■取付け上のお願い

- 本製品の鍵穴に、スプレー式潤滑油(CRC556など)やミシン油を注入しないでください。作動不良などの不具合の原因になります。万一鍵がスムーズに動かない場合は、当社指定の鍵穴用パウダー潤滑材(DASZ020)又は鉛筆の芯を粉状にして注入してください。

### ■取付け順序

#### 1 メイン箱錠・サブ箱錠の取付け

- ①皿小ねじでメイン箱錠を取付けます。
- ②皿小ねじでサブ箱錠を取付けます。

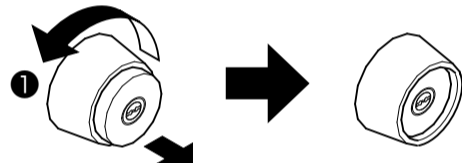
#### 2 シリンダー・サムターンの取付け

##### 【WNキーの場合】

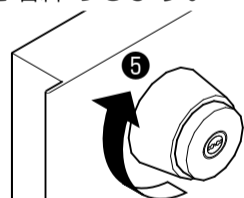
- ①シリンダーを箱錠の丸穴に差込みます。  
※シリンダーに上下の向きはありません。
- ②サムターンを箱錠の丸穴に差込みます。  
※サムターンのツマミは縦にしてください。セキュリティサムターンの場合は切替えレバーを通常モードにした状態でサムターンのツマミを縦にしてください。
- ③サムターンをシリンダーにねじ止めします。  
※サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。  
※セキュリティサムターンの場合は、取付け後同梱の操作方法ラベルをサムターンの上に張ってください。  
※メイン・サブ用のシリンダー、サムターンの区別はありません。  
(2ロック仕様の場合)

##### 【DNキーの場合】

- ①シリンダー座を反時計回りに回し、シリンダー正面に移動させてください。



- ②シリンダーの刻印を上に向け、箱錠の丸穴に差込みます。
- ③サムターンを箱錠の丸穴に差込みます。  
※サムターンのツマミは縦にしてください。セキュリティサムターンの場合は切替えレバーを通常モードにした状態でサムターンのツマミを縦にしてください。
- ④サムターンをシリンダーにねじで仮締めします。  
※サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。
- ⑤シリンダー座をドアの表面に合わせ締め込み、仮締めしたねじを増締めします。



室外側

- ※セキュリティサムターンの場合は、取付け後同梱の操作方法ラベルをサムターンの上に張ってください。
- ※メイン・サブ用シリンダー、サムターンの区別はありません。(2ロック仕様の場合)

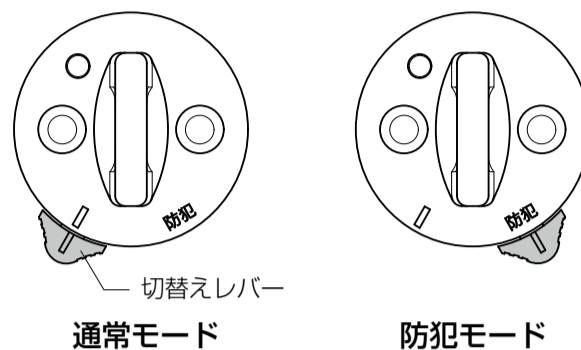
#### 3 レバーハンドルの取付け

- ①外側台座を室外側から差込みます。
- ②内側台座を室内側から外側台座にねじ止めします。
- ③角芯付きレバーハンドルを室外側から差込みます。
- ④レバーハンドルを室内側から差込み、締付けねじで固定します。

#### ■コンストラクション装置について (装置付きの場合)

- シリンダーにはコンストラクション装置が組込まれています。施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、施主さま専用キーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以降はコンストラクションキーでは施解錠できなくなります。
- 封印シールが張ってあるシリンダーにはコンストラクション装置が組込まれていないため、お引渡し時にシールをはがし、作動を確認してください。(2ロック仕様の場合)

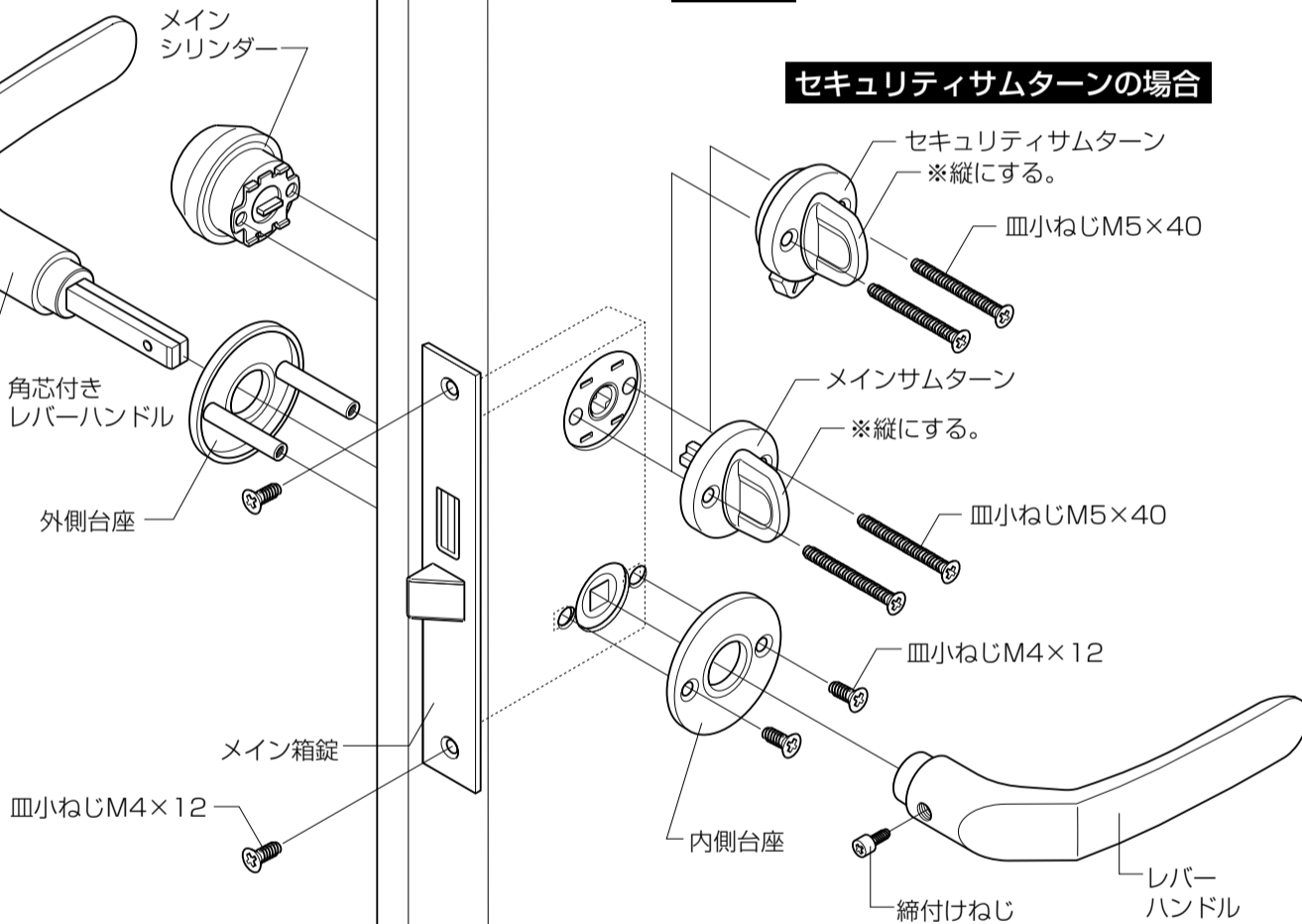
#### ■セキュリティサムターン詳細図



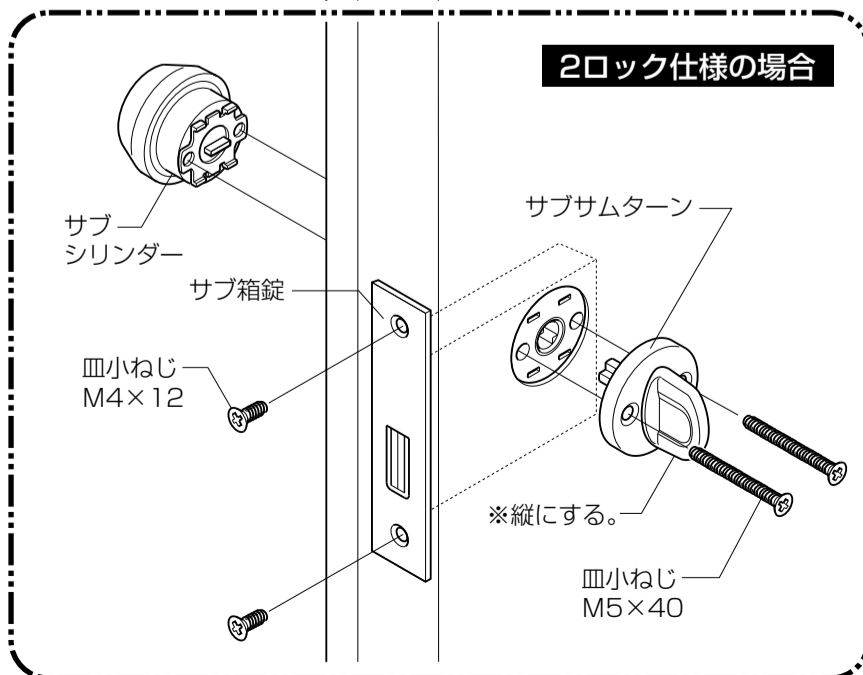
室外側

室内側

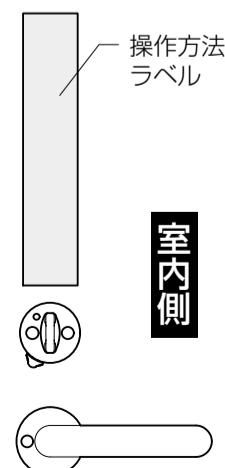
#### ■セキュリティサムターンの場合



#### 2ロック仕様の場合



#### ■操作方法ラベル張付け位置





●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

### 取付け上のお願

●本製品の鍵穴に、スプレー式潤滑油(CRC556など)やミシン油を注入しないでください。  
作動不良などの不具合の原因になります。万一鍵がスムーズに動かない場合は、  
当社指定の鍵穴用パウダー潤滑材(DASZ020)又は鉛筆の芯を粉状にして注入してください。

### 梱包明細

※取付け前に必ず梱包内容をご覧ください。

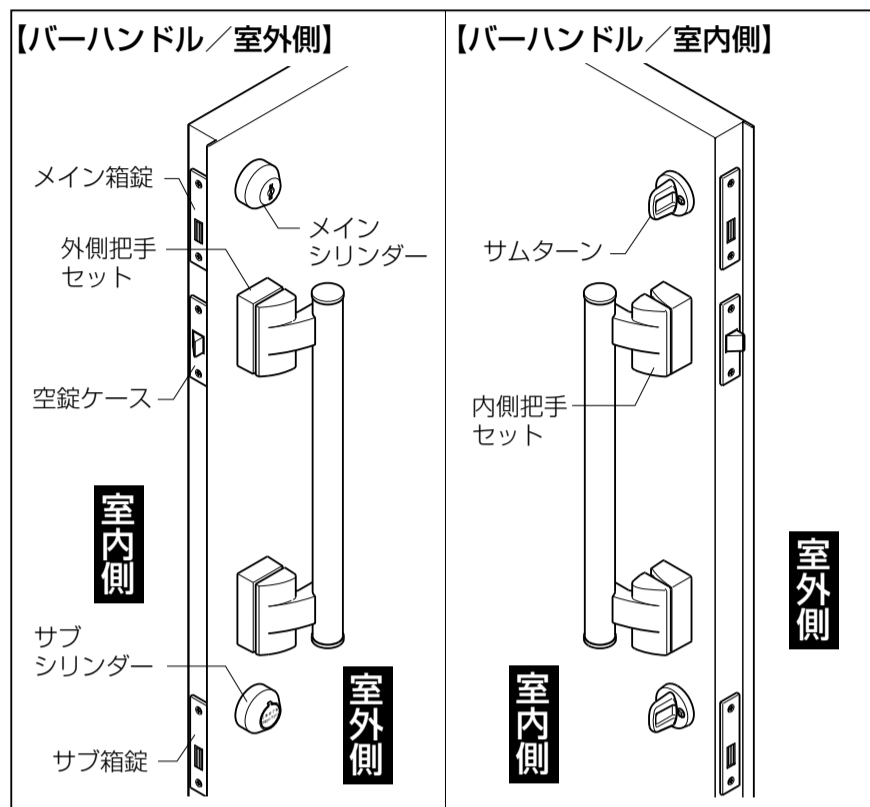
### ハンドルセット

名称	入数	詳細
外側把手セット	1 個	シャイングレー又はグレー塗装、又はディアブラック
内側把手セット	1 個	シャイングレー又はグレー塗装、又はソフトグレー
内側台座カバー	2 個	シャイングレー又はグレー又はソフトグレー
空錠ケース	1 個	皿小ねじM4×16 / 2本

### シリンダーセット

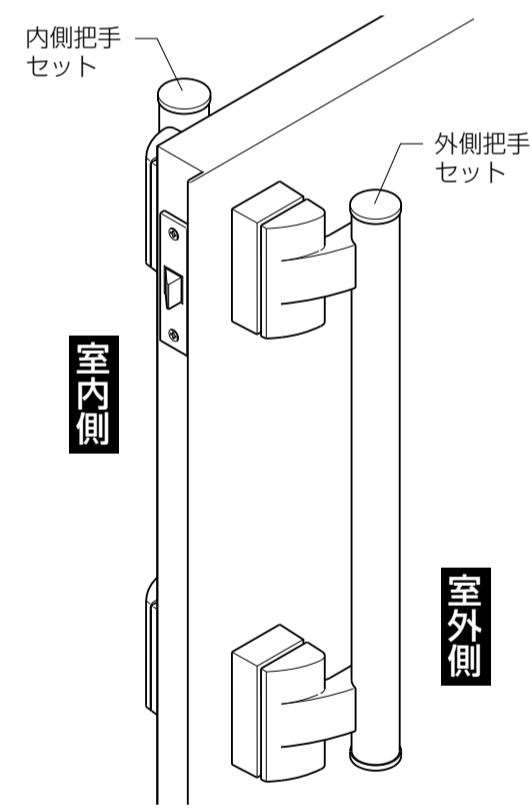
名称	入数	詳細
シリンダーおよび 取付けねじセット	1セット	シリンダーユニット(メイン・サブ)/各1個 サムターン2個、皿小ねじM5×40 / 4本 ※セキュリティサムターン仕様のとき、 サムターン・セキュリティサムターン/各1個 皿小ねじM5×40 / 4本
子鍵セット	1セット	子鍵 / 5本、工事用キー(コンストラクションキー) / 3本
箱錠	2 個	皿小ねじM4×12 / 4本
取付け説明書	1 枚	

### 取付け完成図



### 取付け順序

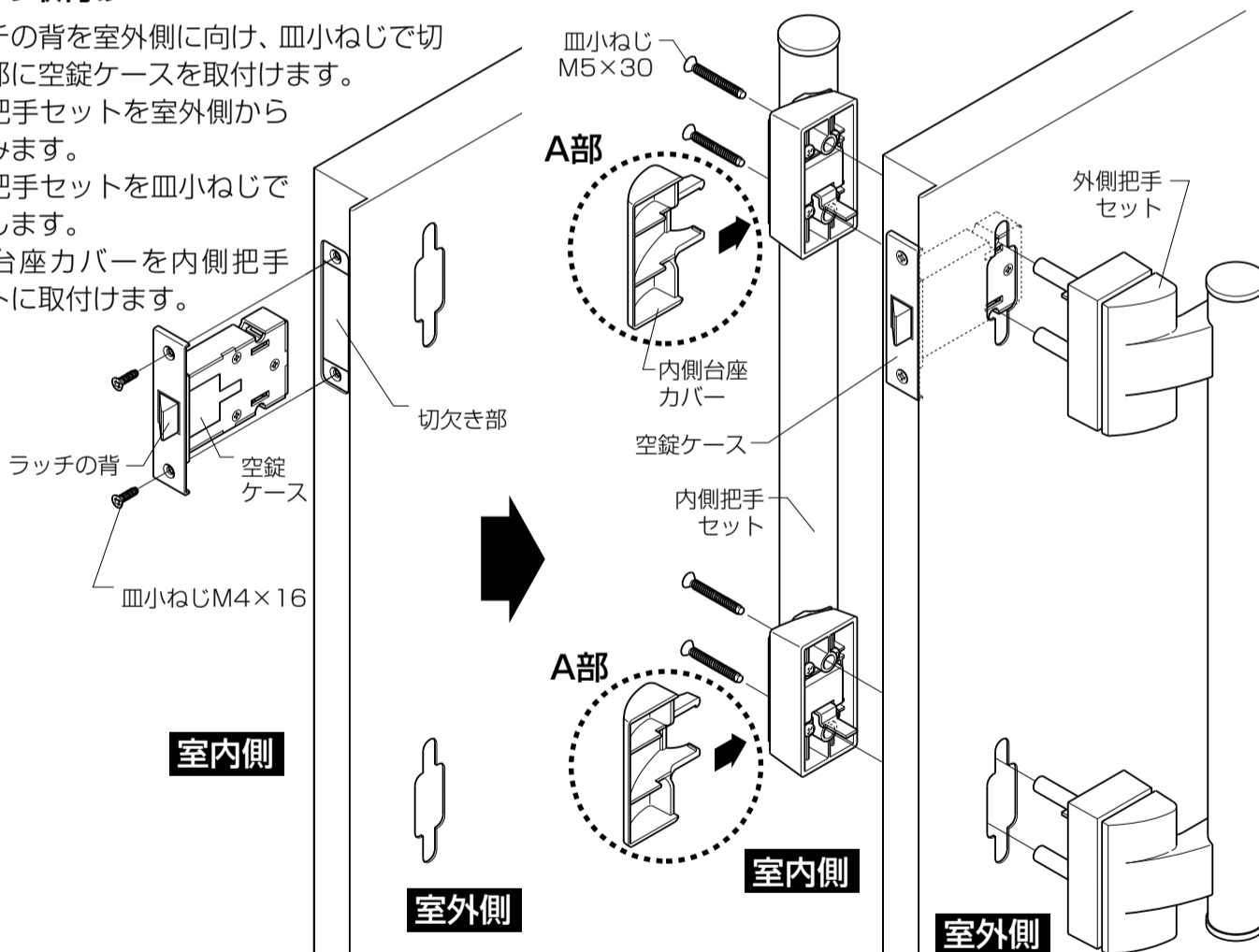
#### 1 把手の取付け



### 取付け詳細

#### 1 把手の取付け

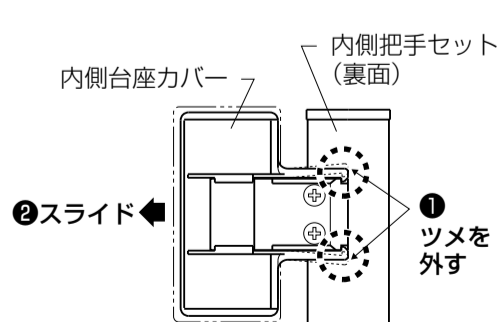
- ① ラッチの背を室外側に向け、皿小ねじで切欠き部に空錠ケースを取付けます。
- ② 外側把手セットを室外側から差込みます。
- ③ 内側把手セットを皿小ねじで固定します。
- ④ 内側台座カバーを内側把手セットに取付けます。



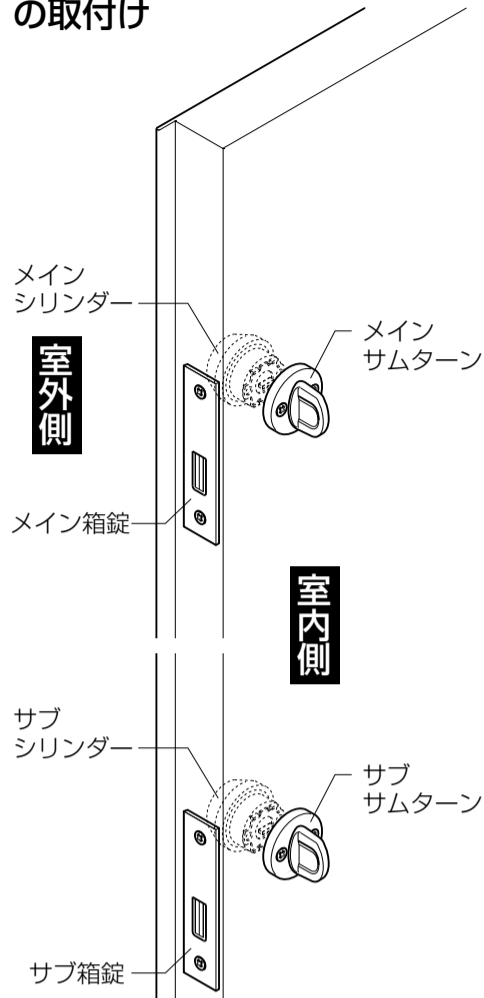
#### 内側台座カバーの取付け方 (A部詳細図)



#### 内側台座カバーの外し方



## 2 箱錠・シリンダー・サムターンの取付け



## 2 箱錠・シリンダー・サムターンの取付け

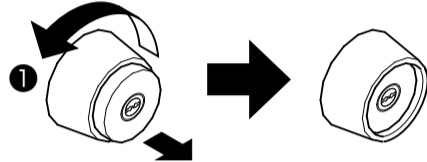
- ①皿小ねじで箱錠(上)を取付けます。
  - ②皿小ねじで箱錠(下)を取付けます。
- ※箱錠に上下の区別はありません。

### 【WNキーの場合】

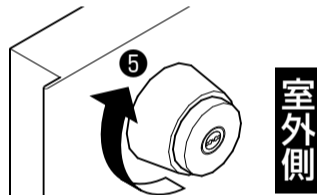
- ①シリンダーを箱錠の丸穴に差し込みます。  
※シリンダーに上下の向きはありません。
  - ②サムターンを箱錠の丸穴に差し込みます。  
※サムターンのつまみは縦にしてください。セキュリティサムターンの場合は切替えレバーを通常モードにした状態でサムターンのつまみを縦にしてください。
  - ③サムターンをシリンダーにねじ止めします。  
※サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。  
※セキュリティサムターンの場合は、取付け後同梱の操作方法ラベルをサムターンの横に張ってください。
- ※メイン・サブ用シリンダー、サムターンの区別はありません。

### 【DNキーの場合】

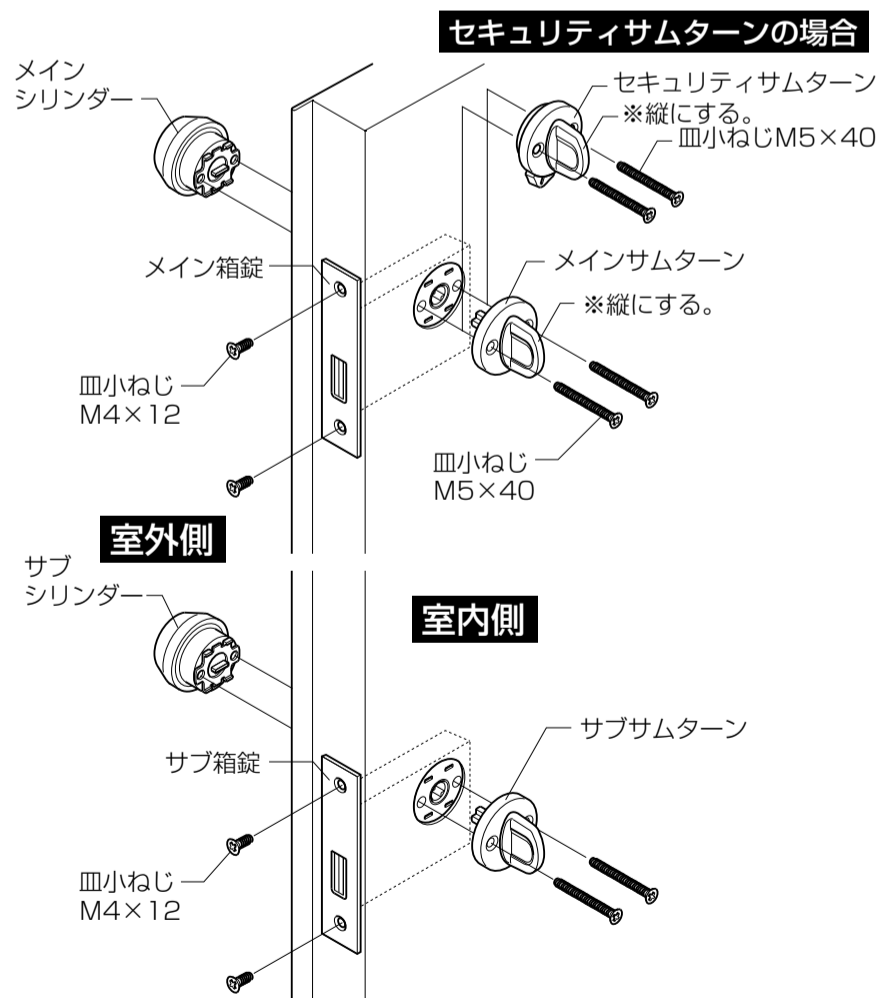
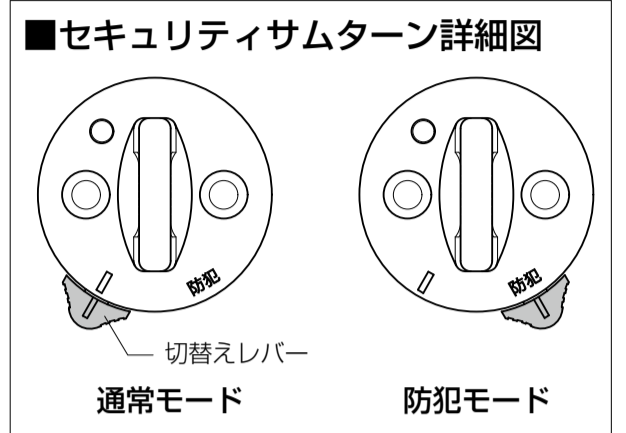
- ①シリンダー座を反時計回りに回し、シリンダー正面に移動させてください。



- ②シリンダーの刻印を上に向け、箱錠の丸穴に差し込みます。
- ③サムターンを箱錠の丸穴に差し込みます。  
※サムターンのつまみは縦にしてください。  
セキュリティサムターンの場合は切替えレバーを通常モードにした状態でサムターンのつまみを縦にしてください。
- ④サムターンをシリンダーにねじで仮締めします。  
※サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。
- ⑤シリンダー座をドアの表面に合わせ締め込み、仮締めしたねじを増締めします。

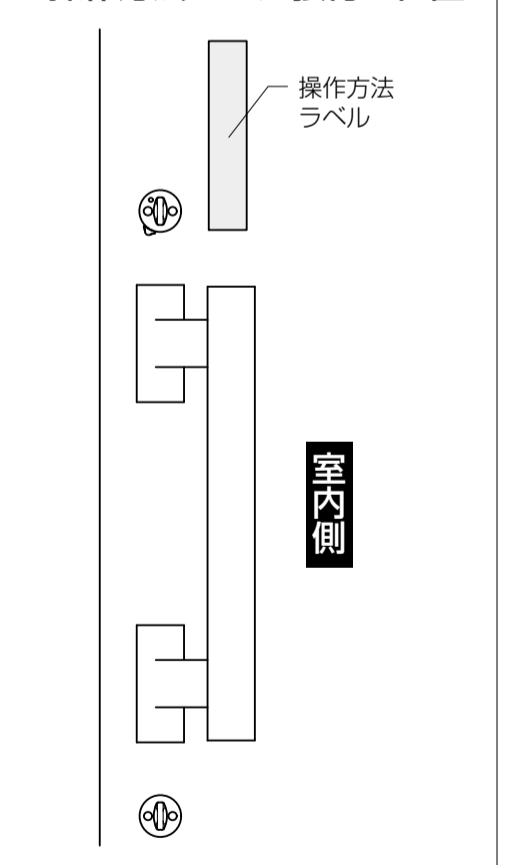


※セキュリティサムターンの場合は、取付け後同梱の操作方法ラベルをサムターンの横に張ってください。  
※メイン・サブ用シリンダー、サムターンの区別はありません。



### セキュリティサムターンの場合

### ■操作方法ラベル張付け位置



### ■コンストラクション装置について(装置付きの場合)

- シリンダーにはコンストラクション装置が組込まれています。  
施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、施主さま専用キーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以降はコンストラクションキーでは施解錠できなくなります。
- 封印シールが張ってあるシリンダーにはコンストラクション装置が組込まれていないため、お引渡し時にシールをはがし、作動を確認してください。